

平成18年度栽培実験計画書

栽培実験名	ほ場条件下における遺伝子組換えダイズとツルマメとの自然交雑
実施独立行政法人・研究所名	独立行政法人 農業環境技術研究所
公表年月日	平成18年5月18日

1. 栽培実験の目的、概要

(1) 背景及び目的

学識経験者で構成される「生物多様性影響評価検討会」（以下「検討会」という）は、「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律」（平成15年法律第97号。以下「カルタヘナ法」という）に基づき第一種使用規程の承認申請のあった除草剤グリホサート耐性ダイズ（40-3-2 系統。以下「本組換えダイズ」という。）の生物多様性影響評価について検討し、生物多様性に影響を及ぼす恐れはないと判断した。その際、検討会はダイズと近縁野生種であるツルマメとの交雑性等に関する科学的知見の充実を図るため、公的機関による本組換えダイズとツルマメとの自然交雑率及び雑種後代における当該組換え遺伝子の適応度等の情報収集の実施を求めた。本研究では、検討会の求める情報収集のうち、本組換えダイズとツルマメとの自然交雑に関する調査を実施する。

(2) 概要

農業環境技術研究所の一般試験ほ場で平成17年度から平成19年度まで本組換えダイズの栽培実験を行う。平成18年度については、本組換えダイズを6月から11月まで栽培するとともに、本組換えダイズから一定の距離ごとにツルマメを栽培し、収穫したツルマメ種子中の組換え遺伝子の有無を調べ、本組換えダイズからの距離と交雑率との関係を解析する。

2. 使用する第一種使用規程承認組換え作物に関する事項

(1) 作物の名称

除草剤グリホサート耐性ダイズ（40-3-2 系統）

(2) 第一種使用規程の承認取得年月日等

本組換えダイズは、平成17年5月25日付けでカルタヘナ法に基づく第一種使用規程（食用又は飼料用に供するための使用、栽培、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為）の承認を取得している。

(3) 食品安全性承認作物又は飼料安全性承認作物の該当性

本組換えダイズは、平成13年3月30日付けで食品衛生法（昭和22年法律第233号）に基づく食品としての安全性が、平成15年3月27日付けで飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律（昭和28年法律第35号）に基づく飼料としての安全性が確認されている。

3. 栽培実験の全体実施予定期間、各年度の栽培開始予定時期及び栽培終了予定時期
(1) 全体実施予定期間
平成17年度－19年度
(2) 平成18年度の栽培開始予定時期及び栽培終了予定時期
平成18年5月 ツルマメ播種
平成18年6月 組換えダイズ播種
平成18年7月－9月 開花、生育、訪花昆虫相調査
平成18年10－11月 組換えダイズ、ツルマメ種子収穫
平成18年11月 すき込み（栽培終了）
(参考) 平成19年度の予定
平成18年度と同様の試験を行うとともに交雑率の変動要因を解析する。
4. 栽培実験を実施する区画の面積及び位置（研究所等内の区画配置関係）
(1) 試験ほ場の面積 規模： 20 a
(2) 試験ほ場の位置： 別添1 参照
5. 同種栽培作物等との交雑防止措置に関する事項
交雑防止措置の内容
本組換えダイズは、研究所内で試験栽培されている非組換えダイズから10m 以上離して栽培する。 また、栽培実験を実施する区画は、研究所外の最も近い農家ほ場から400m離れている。
6. 研究所等の内での収穫物、実験材料への混入防止措置
① 実験材料を実験ほ場へ搬出する際には、こぼれ落ちないように袋に入れて運搬する。
② 試験ほ場全面にマルチを敷設し、落下したダイズ、ツルマメの種子を回収して焼却、或いは研究所内の廃棄用の穴に埋めて処理する。
③ 播種後に防鳥ネットをかけて、鳥による種子の持ち出しを防ぐ。
④ 結実期前に防鳥ネットをかけて、鳥による種子の持ち出しを防ぐ。
⑤ 登熟したダイズ、ツルマメの種子は速やかに収穫し、小動物による種子の持ち出しを防ぐ。
⑥ 実験の過程で行う調査及び管理作業、収穫作業に使用する機械は、使用後付着した土壌や種子等を実験区画内で払い落とす。
7. 栽培実験終了後の第一種使用規程承認組換え作物処理等
① 試験ほ場の植物体は、地上部は研究所内の廃棄用の穴に埋めて処理し、地下部は実験区画にすき込む。
② 調査分析に使用した植物体は、再生しないように焼却、或いは研究所内の廃棄用の穴に埋めて処理する。

8. 栽培実験に係る情報提供に関する事項

① 説明会等の計画

平成18年5月18日：栽培実験計画書の公表

平成18年6月3日：栽培実験に係る説明会

場所：独立行政法人 農業環境技術研究所 大会議室（2階）

時間：13：30～15：30

② その他の情報提供

栽培実験の実施状況については、当研究所ホームページ（<http://www.niaes.affrc.go.jp/>）で情報提供を行う。

その他、栽培実験実施中に、随時見学を受け入れることも可能。

③ 本栽培実験に係る連絡先

独立行政法人 農業環境技術研究所 生物多様性研究領域

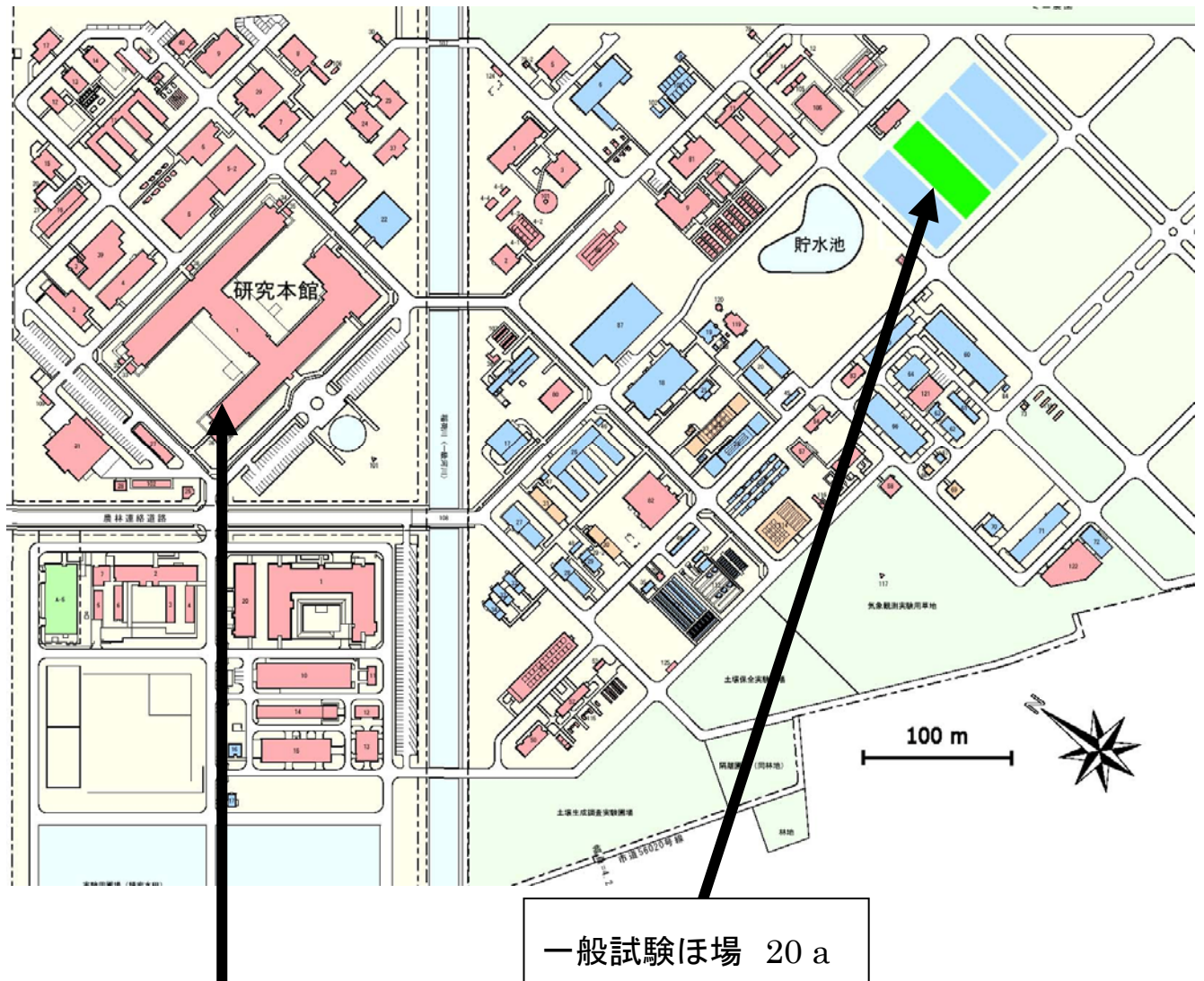
遺伝子組換え生物生態影響リサーチプロジェクト

電話番号 029-838-8271

メールアドレス niaes-gmo@niaes.affrc.go.jp

試験を実施する区画の位置と面積(別添1)

(独)農業環境技術研究所配置図



(独)農業環境技術研究所本館